



富山県

リンゴ中生品種「錦秋(きんしゅう)」の特性

富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所 果樹研究センター

1. 背景とねらい

富山県におけるリンゴ栽培は、農家の庭先等での直売を中心とし、年末贈答需要が高い晩生品種「ふじ」に偏重しています。リンゴのブランド力強化と品種構成の是正を図るには、「ふじ」と成熟期が異なり、本県に適した魅力ある品種を導入する必要があります。

「錦秋」は、(国開)農研機構果樹茶業研究部門で「千秋」に「4-4349(「つがる」×「いわかみ」)」を交配して育成され、2019年4月に品種登録された中生品種であり、本県における品質・栽培特性を明らかにしました。

2. 成果の内容

- ・ 開花盛期は4月26日で「秋映」とほぼ同時期で、「さんさ」よりやや遅い。収穫始期は9月14日、盛期は9月16日で「シナドルチェ」と同時期で、県推奨品種の「さんさ」、「つがる」と「秋映」の間に収穫できます(表、図1)。
- ・ 果形は扁円形で果皮は暗紅色です(図2)。
- ・ 同時期に収穫できる「シナドルチェ」と比較し、短果枝の着生が少ないことから収量性はやや劣りますが着色に優れます。また、サクサクとした肉質で果汁多く、甘みを強く感じ、食感、食味に優れます(表)。
- ・ 心かびの発生はなく、さびの発生もがくあ部に若干見られる程度です。

表 「錦秋」の生育特性、果実品質

品種名	樹姿	樹勢	短果枝	開花日		収穫日			収量性 ²
				始期	盛期	始期	盛期	終期	
錦秋	開張	やや弱	少	4/23	4/26	9/14	9/16	9/19	やや少
さんさ(推奨品種)	開張	やや弱	中	4/21	4/24	8/23	8/30	9/5	中
つがる(準推奨品種)	中間	中	中	4/22	4/25	8/27	8/31	9/5	中
シナドルチェ(試作品種)	中間	中	やや多	4/21	4/25	9/12	9/16	9/21	やや多
秋映(推奨品種)	開張	やや弱	中	4/22	4/26	9/26	10/2	10/10	やや多

品種名	果重 (g)	地色 ³ (指数)	着色 面積 (%)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸度 (%)	貯蔵性(日)	
							室温	冷蔵(5℃)
錦秋	327	4.2	82	13.9	15.3	0.31	4	12
さんさ(推奨品種)	256	5.0	52	14.4	14.5	0.33	7	-
つがる(準推奨品種)	266	3.4	48	13.6	13.6	0.22	7	-
シナドルチェ(試作品種)	326	5.0	57	13.8	13.5	0.34	7	-
秋映(推奨品種)	322	5.1	86	15.6	14.1	0.40	14	-



※「錦秋」は2012～2020年、「さんさ」、「シナドルチェ」、「秋映」は2011～2020年、「つがる」は2006～2015年の平均値

² 樹齢を加味した樹容積や結実量、果実の大きさ、生理落果等による総合的な生産性

³ 地色指数は、農林水産省果樹試験場基準果実カラーチャートを用い、「錦秋」、「秋映」はリンゴ(地色)「ふじ」により、「さんさ」、「つがる」、「シナドルチェ」はリンゴ「王林」により評価

8月		9月		10月
下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
さんさ		錦秋		
つがる		シナドルチェ	秋映	



図1 「錦秋」と主な早生、中生品種の収穫期(イメージ)

図2 「錦秋」の外観(上: 赤道部、左下: こうあ部、右下: がくあ部)

3. 成果の活用・留意点

- ・ 同時期収穫の「シナドルチェ」とは異なる外観、食味を持ちますので、直売主体の当県で品揃えを増やす品種として活用できます。
- ・ 樹姿は開張で、樹勢は若木では中程度ですが樹齢が進むとやや弱くなります。短果枝の着生が少なく枝のはげ上がりが見られるので、結果枝を確認しながらせん定を行うことが肝要です(表)。
- ・ S遺伝子型はS3S7で「つがる」以外の推奨品種とは和合性があります。
- ・ 貯蔵性は室温で4日程度、冷蔵(5℃)で12日程度で、この時期の品種としては短いので、計画的に収穫、販売する必要があります(表)。
- ・ 収穫前落果が多く発生しますので、落果防止剤の散布は必須です。